

1 被害防止計画の作成数、特徴等

洲本市においては、平成22年度に作成した被害防止計画を3年ごとの平成25年度に見直し作成している。対象鳥獣はシカ・イノシシで、被害減少に向けた捕獲・防除に関する施策が列記している。

2 事業効果の発現状況

金網柵の設置については、集落ごと、又、被害の多いところから地元施工で整備している。金網柵の設置集落については、確実に被害が減っているが、新たに被害が出始めている地域もあり、箱わな導入による捕獲との一体的な金網柵の整備に取り組んでいく。

3 被害防止計画の目標達成状況

事業効果もあり平成22年度(14.59ha 20,038千円)あった被害が、平成23年度(8.21ha 12,322千円)、平成24年度(7.02ha 11,113千円)と減少傾向にあったが、一転、平成25年度は(11.48ha 18,730千円)と増加した。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	都道府県の評価	
										対象鳥獣	被害金額(千円、%)				被害面積(ha、%)					
											基準年の実績	目標値	実績値	達成率	基準年の実績	目標値	実績値			達成率
洲本市鳥獣被害防止連絡協議会	洲本市	H23	シカ・イノシシ	捕獲箱わな導入	24基	協議会	H24.4	100%	導入した箱わな等で有害期間の捕獲頭数は、H23シカ17頭、イノシシ243頭、H24シカ15頭、イノシシ141頭、H25シカ25頭、イノシシ487頭。侵入防止柵はH23～H25に計47,341m導入した。導入した地域においては被害の低減がみられたが、導入していない地域に新たに被害が発生している。	シカ・イノシシ	20,038	11,115	18,730	15%	14.59	8.4	11.48	50%	金網柵の設置している集落の被害は確実に軽減している。本事業と合わせ、集落ぐるみでの被害防止体制の整備や正しい知識を持ったリーダーの育成等、本事業の効果が最大限に発揮されるよう努める	
		H23		金網柵の設置	10,890m		H24.3	100%												
		H24		捕獲箱わな導入	36基		H25.4	100%												
		H24		金網柵の設置	22,600m		H25.3	100%												
		H25		捕獲箱わな導入	12基		H26.4	100%												
		H25		金網柵の設置	13,851m		H25.3	100%												
		合計													20,038	11,115	18,730	15%		

5 第三者の意見

コメント
 防護柵の整備を計画的に進めているにもかかわらず、目標を達成していない市町が多く見られた。これは、防護柵が整備されていない地区で被害が増えていることが原因と考えられる。このため、引き続き防護柵の整備を進めるとともに、捕獲も進めて個体数の低減を図り、農林業被害の低減を図る必要がある。
 (森林動物研究センター業務部副部長 田口 彰)